

Solan Primary School

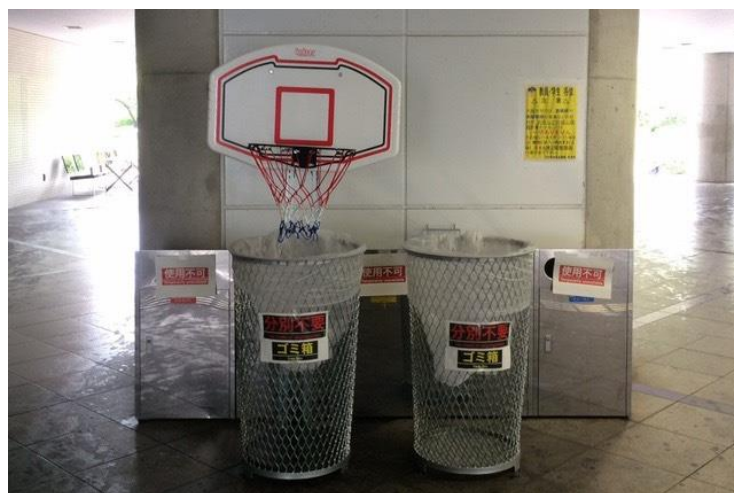
4th grade news letter

Venture Fourth

2023 Apr. 13

ついついしたくなる仕掛け

まずはこちらの写真をどうぞ。



左と右のゴミ箱。

どちらの方が、沢山のゴミが捨てられたでしょうか。

そう、多くの方は左を選択します。

バスケットのゴールがあると、ついついシュートが打ちたくなりますよね。

さらに、「ゴミを捨てる」という行動を選択する人も増えるそうです。

辺りが、綺麗になっていくのです。

こうやって行動変化を強制するのではなく、何らかの魅力を創って目的の行動へと誘う工夫は、世の中の至るところに存在します。

「仕掛け学」という分野のお話です。（アフォーダンスという名称の方が馴染みがある方もいるかもしれませんが）

では、身の周りに散りばめられている“仕掛け”はどんなものがあるのか、一度考えてみましょう。

裏面を読む前に、一度じっくり思い浮かべてみて下さい。

例えばこれ。



トイレの的

「的」があると狙いたくなる心理を利用した男子トイレの尿飛散を防ぐシール。飛散が減ることで清掃コストが削減できる



背表紙のライン

ファイルボックスの背表紙に斜線を引くことで、「つい直したくなる」ように自発的な整理整頓が誘導できる

左のトイレの例は男性にとってはお馴染みですが、右の背表紙の例を見た時はなるほどなあと思ったものです。

さらに、こんなものもありますよ。



天王寺動物園の筒

象のいるエリアに続く小径のわきに設置されている「筒」。子どもの目の高さにある筒の先には象のフンがあり、観察して楽しめるようになっている

「じっくり見てね」と言わずとも、筒があれば人は覗きたくなるものです。

ちなみに、壮大な仕掛けで言えばこんなものもあります。

<https://www.youtube.com/watch?v=2IXh2n0aPyw>



これはスウェーデンの駅の例です。

いい年をした大人たちが真剣になってこの壮大な仕掛けに取り組んだのかと思うと、なんだか素敵だなあと感じます。

日本で果たして同じことが可能だろうかという事もふまえて、その「心の余裕」のようなものも含めて私は大いなる憧れを覚えるのです。

そうそう、あの有名な漫画の背表紙にも、仕掛け学が隠れていたことにも最近気づきました。



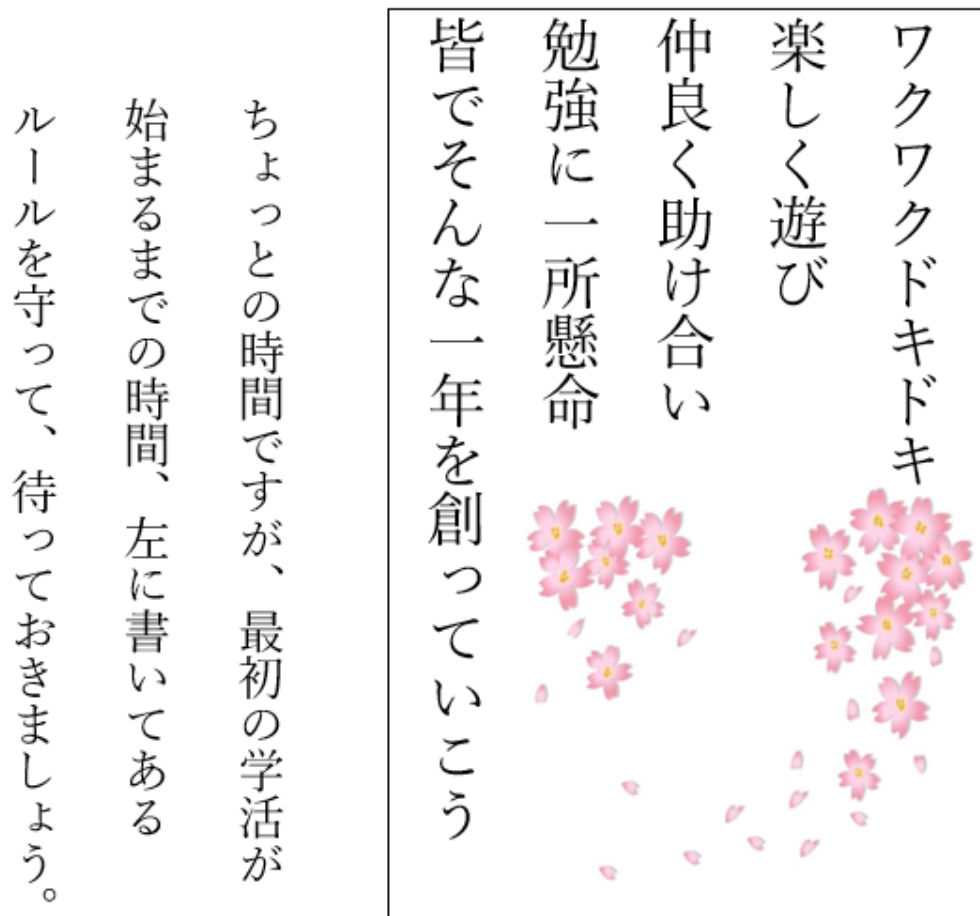
この仕掛け学に出会ったのが8年前。

以降、毎年この学問を生かして教室に様々な「仕掛け」を施すことにしています。

今年も、4-1の教室には様々な仕掛けをほどこしました。

例えば、4月5日の初日。

まだ、担任発表すらなされていなかった瞬間の教室のホワイトボードには、私は次のメッセージを飾っておきました。



ちなみに左の「ルール」には、教科書に名前を書いたり自分のロッカーを見つかるなどして待っていきましょうね、という内容の言葉を加えておきました。

ここに施した「仕掛け」に最初に気づいたのが入野くんでした。

この時点では分かっていない子が大多数だったわけですが、

「ホワイトボードにある“ヒミツ”が隠されているんだけど分かった人？」と尋ねると、飛び跳ねるように続々と子どもたちが駆け寄ってきました。

ちなみに、同じロジックで、階段を4回まで登ったところに貼ったメッセージにも仕掛けを施しておきました。



見つけた子たちはこれまた嬉しそうに私の所に報告に来ました。

これは一つの例ですが、そんな風にくつつかの遊び心を伴わせながら教室設計を行うと、子どもたちは「そういう目」で周りをよく観察するようにもなったりします。

ちなみに、以前いた学校の教室風景がこちらです。



ここにも全部で10以上の仕掛けがなされています。

SOLANの教室にも「つついしたくなる仕掛け」をたくさん作りたと思っています。

何か良いアイデアがあれば、ぜひ教えてください。